

承合事項 3 平成 26 年度の図書館活動について

教育支援、研究支援、社会貢献、管理運営について、現況、トピック、課題などをお知らせください。

※総会日程の 5.各館活動報告（14:05～15:00）において、各館より 2 分程度、本回答を基に活動報告を行っていただき、加盟館内の情報共有を図ることを目的としています。

提出大学名： 広島大学

1. 教育支援

- a) 学習環境
 - ・霞図書館グループ学習スペース（BIBLA Kasumi）の 24 時間利用本格運用開始。
 - ・東千田知的人材育成センターに、医歯薬 1 年生の教養教育用の新図書室整備としてラーニングコモンズ新設及び、既設の東千田図書館の書架増設準備。（H28.4 供用開始予定）
- b) 利用者サービス
 - ・他キャンパス図書館資料の取り寄せサービス開始。生協コピー機での電子マネー使用開始（中央・西・霞）。
 - ・自動書庫運用開始。オープニングセレモニー。18 万冊入庫済（3 月末時点）。
 - ・Espresso Book Machine による教材作成。23 種 1,318 冊。
- c) ライティングセンター
 - ・大学院生 TA13 名による日本語論文個別相談（523 セッション）。ライティングセミナーを 7 回開催、参加者計 682 名。英語論文作成相談を試行的に開始。
 - ・ワシントン大学ライティングセンターチューターとの意見交換会開催。

2. 研究支援

- a) 電子ジャーナル・データベース
 - ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービス導入。
 - ・Early English Books Online（EEBO）：初期英語書籍集成インターネット版 導入。
 - ・SCOPUS 導入。（3 月トライアル開始、27.4 月～本格導入）
- b) 学術情報リポジトリ・電子図書館
 - ・博士論文説明会開催（参加者計 132 名）。図書館員対象 DOI 講習会開催（参加者 39 名）。
 - ・研究者総覧と学術情報リポジトリの連携作業及びそれに伴うシステムリプレイス。
 - ・学内発行雑誌の英文抄録付与・リポジトリ登録義務化。
 - ・学内雑誌の二次情報データベース採録支援（電子ジャーナルプラットフォーム作成）。
 - ・特殊コレクションサーバを導入し、コレクションの電子画像を順次移行。
- c) ライティングセンター
 - ・専任教員の配置
 - ・研究企画部門との連携による研究成果の国際発信支援として、学内発行雑誌の英文抄録付与促進のための校正費助成、リポジトリ登録義務化、投稿論文の英文校正費助成など。
- d) 出版会
 - ・査読体制の強化。関係内規の改正。2 冊刊行（うち 1 冊はオンデマンド出版）。

3. 社会貢献

- a) 展示・イベント
 - ・地域国際交流プラザでの企画展 5 回開催、来場者約 4,000 人。
 - ・ホームカミングデー企画展開催「漢籍コレクションス波文庫展」
 - ・霞図書館グループ学習スペース（BIBLA Kasumi）にウィンドウス賞メダル展示。
- b) 公共図書館連携
 - ・ビブリオバトル京都決戦地区予選・決戦の開催。
 - ・広島市立図書館連携事業として講演会、交換研修実施。
- c) 広島県大学図書館協議会
 - ・代表幹事館として研修会開催。共同リポジトリ（HARP16 機関参加）の運営。

4. 管理運営

- ・利用者アンケートの実施。
- ・中央図書館空調機入れ替え。
- ・広島大学インターン受入（1 名 2 週間）。広報誌に学生ボランティアを導入（試行）。

1. 教育支援

- a) 「英語多読コーナー」の充実および授業との連携（担当教員が同コーナーの図書を使う課題を出し、学生が館外貸出により使用）
- b) 「まんがで読破」シリーズなど、漫画による名作・古典文学等のコーナーの充実
- c) ラーニングルームの試行運用（1部屋・8席）
- d) 利用ガイダンスの実施（1年生の基礎ゼミ単位）

2. 研究支援

- a) リポジトリ登録の推進
- b) 電子ジャーナル・データベースの導入・整備（日経テレコン21など）

3. 社会貢献

- a) 「高橋玄洋記念室」の一般公開
- b) 共同リポジトリでの学内成果物のweb公開
- c) 公共図書館との相互貸借などの連携
- d) 市内の中学生（8/21, 2名）の職場体験の受入

4. 管理運営

- a) 閲覧席用のソファ等入れ替え
- b) 学生連絡協議会での附属図書館への要望事項（リクエストサービスの充実など）に対する対応

1. 教育支援

1) 学習環境の整備

- ・ラーニングコモンズ設置（後期～庄原・三原キャンパス）※広島キャンパスはH24～
- ・ラーニングコモンズ学修支援アドバイザー試行運用

2) サービス等

- ・貸出上限冊数の拡大試行（10冊→20冊）（試験期を除く。）
- ・試験期の休日開館，庄原キャンパス集中講義日の休日開館の実施（継続）
- ・卒論用特別貸出の試行（一般貸出とは別枠で5冊以内・1ヶ月）（継続）

3) 各種講習会

- ・新入生オリエンテーション，フレッシュマンセミナーにおける文献検索ガイダンス
- ・図書館活用法・レポートの書き方についての講習会（DVD上映）
- ・電子ジャーナル・データベース講習会開催（オンライン講習会，DVD上映含む）
- ・学修支援アドバイザーによるデータベース等講習会

4) 学習支援図書整備

- ・英語多読本コーナーの新設（広島キャンパス）
- ・各学科等推薦による図書整備（継続）
- ・学生選書による図書整備（キャンパス合同現地選書ツアー（継続）に加え Web 選書実施）

2. 研究支援

1) 電子ジャーナル・データベースの整備

- ・原則3年おきに見直している電子ジャーナル・データベース等の整備方針について一部見直しを行い，利用頻度の低いデータベースの購読中止（H27～）を決定した。

2) 学術情報リポジトリ

- ・広報及び登録（平成26年度登録件数55件 累積912件 ダウンロード数6,898件/月）

3. 社会貢献

1) 資料展示・イベント

- ・宮島学センター共催企画展示，地域連携センター公開講座連携展示，企画展示，各キャンパスの特色を活かした常設図書展示（三原キャンパス：「病気・障害とともに生きる：体験記コーナー」）等

2) 学外者への図書館資料の貸出 19,143冊（前年比8%増・貸出総数の28%）

3) 中学校職場体験学習の受入（継続）

4) 施設見学受け入れ（随時）

4. 管理運営

1) 夏季冷房の改善（広島キャンパス運転時間1時間延長17:50→18:50）（継続）

2) 省エネ対策（不要照明の減灯，自動扉開放等）（継続）

3) 広報（大学公式Facebook及びTwitterによる行事情報等の配信，センター報の発行）

4) 利用者アンケートの実施（図書資料別の利用頻度，図書館満足度等）

1. 教育支援

- a) ラーニングcommons等整備
 - ・平成 26 年 10 月にラーニングcommons (いちコモ) 新設。
 - ・ラーニングcommons新設に伴い 1, 2 階の閲覧室を整備。
 - ・1 階に知のトライアスロンコーナー設置。
- b) ガイダンス・各種講習会
 - ・新入生オリエンテーション・授業ガイダンス・就職情報ガイダンス・ミニガイダンスの実施
- c) いちだい知のトライアスロン事業の実施
 - ・図書 50 点、映画 25 点、美術展覧会 15 点を含む計 120 点を走破した初の「知の鉄人」が誕生。
- d) ブックハンティング
 - ・学生と共に書店へ行き、学生目線での選書を実施 (2 回)

2. 研究支援

- a) 電子ジャーナル・データベースの整備
 - ・平成 26 年 10 月のシステムリプレイスに伴い、データベース横断検索ソフト (リンクリゾルバ) と BOOK データ APS サービスを導入。
- b) 研究用図書の管理
 - ・寄贈資料 (約 970 冊) を受入、不用図書の廃棄 (3,547 冊)
- c) 学術情報リポジトリ
 - ・コンテンツ数 46 件増 (累積 1,341 件)

3. 社会貢献

- a) イベント
 - ・ビブリオバトル・いちコモ開設記念大会開催。
- b) 公共図書館との連携
 - ・広島市立図書館、県立図書館との図書の相互貸借・情報交換実施。
- c) 美術館、映像文化ライブラリーとの連携
 - ・いちだい知のトライアスロン事業として、講演会、展示、映画上映を実施 (4 回)。
- d) キャンパス見学受入
 - 県内・県外の中学高校のキャンパス見学を受入・実施 (15 回)。

4. 管理運営

- a) 図書館システム
 - ・平成 26 年 10 月にシステムリプレイスを実施。
 - ・リプレイスに伴い館内資料に IC タグを貼付。IC カードを利用した入退館用ゲートを新設。
 - ・自動貸し出し機の設置。
 - ・貸出ノート PC を 20 台から 40 台へ増台。
- b) 広報等
 - ・ツイッターでの展示情報、新着図書情報等の配信。
 - ・附属図書館報「知恵の樹」発行 (年 4 回)。

1. 教育支援

- ・貸出条件の変更（1～3年生：5冊→10冊 4年生：5冊→10冊，14日→28日，更新1回→2回）
- ・学生向けガイダンスのカリキュラム化（都市経営学部1年次で必修）
- ・個別ガイダンスをアラカルト方式で実施
- ・ガイダンスにiPadを導入し，一人1台配布して検索実習を実施
- ・選書ツアー及び視聴覚資料の選定アンケートを実施し，蔵書の選定に学生が参画
- ・選書ツアー参加者を次回の企画運営グループとして組織し，学生の主体的な選書ツアーを実施
- ・ビブリオバトルの実施
- ・ノートPCの貸出サービスの実施
- ・長期休業期間中の特別貸出（期間・冊数増）
- ・レファレンス協同データベース事業への参加
- ・グループ学習室に電子黒板を導入
- ・多様な企画展示の実施（絵本等の授業成果物・長期休暇前の展示・選書ツアー展示等）
- ・新着圖書の表紙コピーのポスター掲示（学食，学内各所を週替わりで巡回掲示）
- ・オープンキャンパスでの多様な企画及び展示の実施
- ・教育実習用の資料やレポート指定資料をカウンターに設置
- ・学内他部署（教育支援センター，キャリアデザインセンター）への図書資料の貸出

2. 研究支援

- ・グローバル ILL（日米）利用開始
- ・電子ジャーナル，データベースの提供
- ・CiNii 機関定額制の契約
- ・共同リポジトリへの紀要論文の登録
- ・紀要刊行への参画（編集委員として）
- ・広島県立図書館との相互貸借，インターネット予約

3. 社会貢献

- ・一般開放（閲覧，貸出，施設利用）
- ・近隣団体，高等学校，大学附属幼稚園からの見学受入

4. 管理運営

- ・夜間開館（平日21時まで）
- ・学内諸部門と連携した多メディアによる情報発信（図書館サイト，大学サイト，Twitter，学生ポータル，学内掲示板，学内デジタルサイネージ，学生食堂掲示板等）
- ・図書館広報紙「mee 図」を学内掲示し，学生ポータル及び図書館サイトに掲載
- ・夜間開館時に，防災センターの警備員による巡回監視を実施
- ・カウンター内部に非常通報装置を設置

1. 教育支援

2013年度から3年計画の予定で図書館のシステム化を実施しているが、2015年度からの校舎建て替えもあり、今後は図書館の利用方法も大幅に変わってくると思われる。

ガイダンスや利用マニュアル等の充実を図っていく必要がある。

2. 研究支援

RILM(RILM Abstracts of Music Literature)を導入

3. 社会貢献

4. 管理運営

・2015年4月から校舎建て替えにより、図書館閲覧室部分が閉鎖となる為、開架和書・洋書、楽譜の移動等引っ越し作業を2015年1月～3月まで行った。

・図書館のシステム化を行っているが、入力されたデータが反映されていないというトラブルも起きている。

・図書館の業務運営が2012年度から丸善株式会社へ業務委託されていたが、2014年度で終了となった。(2015年度から大学運営に戻る)

1. 教育支援

○学習支援

- ・ガイドラインコーナーの設置
- ・OPACの改善（地図表示、ラベル表示）

○講習会等

- ・開催回数 29 回、参加者延べ 939 人 内訳は下記のとおり
新入生オリエンテーション（5 回：182 人）、教員との連携（13 回：680 人）
図書館主催（3 回：27 人）、オーダメイド（4 回：12 人）、地域対象（4 回：38 人）

○展示会

- ・開催回数：8 回

2. 研究支援

○リポジトリ（HARP）

- ・コンテンツ登録（新規に紀要 12 件、報告書 2 件）
- ・ダウンロード数：64,702 件

○紀要

- ・15 巻刊行

3. 社会貢献

○トワイライト講習会

- ・開催回数：4 回、参加施設：7 施設、参加人数：38 人

○職場体験 ・阿品台中学 2 名

○大学祭参画 ・つりぼり

○ブックケアプロジェクト

- ・2014 年 10 月スタート
- ・2015 年 4 月現在：126,952 円

4. 管理運営

○管理

- ・年次報告書作成

○

- ・学術雑誌アンケート実施
- ・視聴覚資料アンケート実施
- ・雑誌利用頻度調査実施
- ・蔵書点検（不明 2 冊）

1. 教育支援

- a) 学習環境 ①ラーニングコモンズ (Me+Library みらいぶらりい) を学生との協働で設置(10月) ②学習用PC本格稼働 …①と②は効果絶大で入館者18%増 ③推薦図書コーナー設置…中途半端で利用が少ない
- b) 利用指導 ①初年次セミナーへの協力(図書館利用案内)34回 555名 ②上級生向け情報検索指導の実施 39回 236名 ③キャリア教育関連授業への協力 就活用電子書籍の購入と利用指導、授業での新聞DB利用指導…人数が多く対応が難しい、次年度やり方検討
- c) その他 ①図書館募集企画 (LCの愛称募集、ブックカバーデザイン募集) ②本学インターンシップ学生の受け入れ 2名各5日間 ③新学部用資料の発注、受入、登録(開設年) ④展示 ほぼ毎月、館員制作のオブジェやポップによるコーナー展示、図書館入口装飾…展示本は貸出が多い

2. 研究支援

- a) 電子ジャーナル、データベース 図書館経費による購入
- b) 教員研究費、学科経費、科研の図書・雑誌についての起案、発注、受入、登録、貸出
- c) 研究紀要 大学、短大共編集・発送
- d) 機関リポジトリ (HARP) 紀要や学生制作の絵本など

3. 社会貢献

- a) イベント 大学祭への参加 「トリックスペース」トリックアート、スタンプラリー、ポンポンによる装飾 来館者約800名…大盛況で2日共来館する方もいた
- b) インターンシップ 「わーくわくママサポートコーナー」への協力 1名2日間

4. 管理運営

- a) 蔵書点検 2年目 アルバイト学生も使い図書館は順調に進行中 教員の実施が進まない
- b) 大学紀要誌名変更に伴い、投稿要項、執筆要項、提出様式など変更…発行が早くなった
- c) Windows XP 端末の入替え

1. 教育支援

a) 学習環境の整備 ゼミ・卒論コーナーの設置、ブックハンティングの実施

b) ガイダンスの実施

・ 入門ゼミ I・II 対象のガイダンスを実施(新入生必修：前期・後期に実施 各 90 分)

入門ゼミ I：45 回、574 名、入門ゼミ II：45 回、527 名

・ 専門ゼミを対象とした文献ガイダンスの実施(ゼミ単位で申込み制)：21 回、294 名

・ 留学生・院生対象ガイダンス(入学時)

c) サービス等

・ Webサービス(My ページ)の提供(利用状況照会、購入希望図書申込、文献複写・貸借申込、My ブックリスト

My ブックレビュー、My 新着図書情報、施設・PC 利用申込)

2. 研究支援

1) 電子ジャーナル、eブックの整備

・ Business Source Premier (EBSCO)、・ 日経 BP 記事検索サービス、・ Gale Virtual Reference Library、

・ Making of the Modern World I、II、・ eBook Library、・ eBook Collection

2) データベースの契約

・ HCCP (House of Commons Sessional Papers：英国下院議会文書 DB)、・ 企業史料統合 DB、

・ ジャパンナレッジ Lib、・ MAGAZINPLUS、・ EOL、・ 現行法令電子版“Super 法令 Web”

・ 日経テレコン 21、・ 聞蔵 II、・ JIJI-WEB、ヨミダス歴史館、The Japan Times Archives

・ 中国新聞経済データベース“ちゅーBiz” 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス、米国税制・経済改革オンライン DB

3) 機関リポジトリ

コンテンツ登録数 47 件(紀要論文のみ)、ダウンロード数 314,265 件

3. 社会貢献

1) 一般公開(登録制)：学外者の利用可(無料)、

2) 中学校の職場体験の受入：祇園中学 3 年生 8 名(2 日間)

3) 全国大学ビブリオバトル 2014～京都決戦～中国 C ブロック予選会を開催：発表者 7 名、参加者 49 名

4. 管理運営

特記事項無し

1. 教育支援

- ・ 図書館オリエンテーション、初年次セミナー、
- ・ 雑誌リユース、特集展示、ブックハンティング
- ・ 学生アドバイザー制度(院生による学習相談)等の実施
- ・ 電子ブック 235点を購入(計約450点)
- ・ 電子新聞「ELNET」の導入
- ・ 視聴覚資料充実のための購入希望調査
- ・ 情報検索セミナー
- ・ eラーニング教材(英語文法)
- ・ スマホアプリ開発「AR技術で見せる図書館キャラクター」(学生アドバイザー)

2. 研究支援

- ・ データベース、電子ジャーナル環境の整備、エルゼビアのトランザクション
- ・ Scopus&出版倫理講習会
- ・ 学術雑誌の高騰(課題)

3. 社会貢献

- ・ 一般開放、一般利用者貸出
- ・ ふれあいフェスタ(大学の地域貢献イベント)

4. 管理運営

- ・ 図書館利用アンケートWeb調査
- ・ 避難訓練の実施

1. 教育支援

a) サービス等

- ・開館時間延長（試験期間中、東広島本館・呉分館にて延長）
- ・日曜、祝祭日開館（試験期間中、東広島本館・呉分館にて実施）
- ・一般教養図書、授業参考図書、国家試験対策図書の充実
- ・学生・教職員による選書会（2回）、ブックハンティング（1回）の開催
- ・不要になった消耗雑誌をリサイクル
- ・読書マラソン（2回）の開催
- ・図書館報の発行

b) ガイダンス、各種講習会

- ・基礎ゼミナールでの図書館ガイダンスほか、各種図書館利用説明会を行った。

2. 研究支援

a) 電子図書の導入

- ・丸善 eBook Library による電子図書の初導入。

3. 社会貢献

a) 地域貢献

- ・こども図書館の開催（東広島本館・呉分館・広島分館）
- ・地域中学校の職場体験学習の受け入れ（東広島本館）
- ・大学祭でのイベント開催
- ・オープンキャンパスでのイベント開催

b) 公共図書館連携

- ・東広島市立黒瀬図書館との合同展示イベント「くろせ・ひろこく交流図書館」の開催（東広島本館）

4. 管理運営

a) 耐震整備

- ・呉分館の耐震補強改修工事

1. 教育支援

1) 学習支援

- ① 講義に関連した「専門図書」と「教養図書」を先生方に推薦してもらい、教員別に選定図書コーナーへ配架をしている。さらに、図書館ホームページでリストを公開した。
- ② 英語担当教員から推薦を受け、平成 26 年度は英語多読本を 176 冊追加購入した。(現在 533 冊所蔵)そして、図書館から英語担当教員に指導の参考として半期ごとに資料の貸出統計を提供した。
- ③ 資格・就職、日本語能力関連図書を収集した。その際、借りる際の参考として貸出上位リストを表示した。
- ④ ラーニングcommonsの開設準備として、テーブルとイスを設置した。

2) ガイダンス

新入生を対象にした図書館ガイダンスを行った。

3) 事前教育

入学予定の高校生に課題として出された図書を購入し、専用コーナーを作って事前教育の支援をした。

2. 研究支援

- 1) 電子ジャーナル、データベースの導入希望アンケートを実施して、図書館運営委員会で検討をした。
- 2) "Social Sciences Full Text "のトライアルを実施した。(6/11~9/9)
"Social Sciences Full Text "の導入を開始した。(2月末~)
- 3) 学内紀要論文の編集に携わった。
- 4) 学位論文を蔵書として保管し、広島県大学共同リポジトリにより全文を公開した。

3. 社会貢献

- 1) 大学祭で古本市、クイズラリー、ビデオ上映をした。尚、古本市の売上金を使い、学内に花を植えた。

4. 管理運営

- 1) 大学、短大、高等学校が共有できるシステムの運用を検討し、併設高等学校の図書館システムを大学が導入しているシステムに統合した。

1. 教育支援

①教育支援

- ・「修大基礎講座（正規授業）」全9回実施、1255名受講。
- ・「文献検索ガイダンス」前期35回、後期10回実施、533名受講。

②学習支援

- ・「英語リーダーズ」を使った多読キャンペーンを実施。
クラス、個人単位での実施で参加者は87名。貸出冊数は2379冊。
- ・「学内ブックハンティング」を実施。359名参加。
「学外ブックハンティング」を実施。23名参加。

2. 研究支援

- ・電子ジャーナルの見直しと文学系データベースの整備。
- ・ひろしま未来協創センター移設に伴う図書・雑誌の再配置と整理。（約4万冊）
- ・VPN装置の再整備。
- ・学術リポジトリへの博士論文掲載。

3. 社会貢献

- ・私立大学図書館協会西地区部会監事校として業務を遂行。
- ・職場体験学習の受入（中学校2校）
- ・「全国大学ビブリオバトル2014 京都決戦学内予選会」を実施。広島地区大会参加。
- ・「全国高等学校ビブリオバトル2014 中国大会」の会場提供、運営。

4. 管理運営

- ・利用者アンケートの実施
- ・マナーアップキャンペーンの実施。同時に図書館標語を募集し、115点の応募があった。
- ・図書落下防止シートを選定し、年次計画での整備を開始。（2015.3～）
- ・危機管理のマニュアルを作成し、防火設備の確認、火災、地震の避難訓練を実施。

1. 教育支援

(a) 学習環境

- ①研究個室（12部屋）の利用（カウンターでノートパソコン貸出可）、グループ演習室利用、プレゼンテーションルーム利用
- ②自由PCコーナー（24台）、貸出パソコン（18台）、プレゼンテーションルーム（14台）、インターネットコーナーや検索用パソコンを整備（計94台）

(b) 利用者サービス等

- ①夜間開館（平日：8：45～20：00 土曜日：8：45～19：00）
- ②日曜開館（13：00～17：00 試験期・卒論期）オープンキャンパス日曜開館（8：45～16：00）
- ③購入希望図書のWeb申込、ブックハンティングによる希望図書購入
- ④ラーニングアドバイザーの配置（パソコントラブル対応、資料検索補助、レポート・卒論添削、資格取得の為の支援等）：レポート、論文についての支援件数が昨年度に比べて3倍増
- ⑤インターシップ受入（本学学生）：書庫整理、装備、図書館ツアー案内、図書の受入等

(c) ガイダンス・各種講習会等

- ①「初年次ゼミ」の授業を使って、図書館見学ツアー・図書館ガイダンスを新入生全員に実施
各学科論文作成のためのガイダンス実施、各種データベース・ガイダンス実施
- ②「情報サービス論」の授業時に「実際に図書館の実務をやってみよう！」というテーマで
貸出・返却処理、装備、配架処理の入力等の実務体験を実施（参加学生：30名）

2. 研究支援

- ①電子ジャーナル・データベース・電子書籍の整備・・・2015年度に向けて電子ジャーナル・データベース・データベースサービスの検討（Summon Discovery、RefWorks）、和書の電子書籍購入、電子ジャーナルのトライアルに積極的に参加
- ②研究用図書の管理（資産図書のみ管理 学生貸出可）
- ③リポジトリ登録義務化

3. 社会貢献

- ①一般利用者のための図書館開放（貸出可）
- ②日曜開館（一般開放）
- ③5月10日（土）栗原貞子記念平和文庫展示

4. 管理運営

特になし

1. 教育支援

(1) ガイダンスの実施

- ・ 新生対象オリエンテーション（図書館利用説明）
- ・ 上級生対象データベース利用ガイダンス（文献検索）
- ・ 前期試験前・中の開館時間の1時間延長（宇品図書館2週間）

(2) 館内授業の試験的实施（10月～3月）

(3) 購読雑誌種類の増加（宇品：7タイトル 西風：3タイトル）

(4) ブックハンティング実施（参加者16名）

2. 研究支援

(1) 新聞記事データベース「聞蔵Ⅱビジュアル」の新規導入

(2) 医療系データベース「メディカルオンライン」アクセスフリープランの導入（継続）

(3) FD研修の一環として教員対象に各種データベースの利用ガイダンスを実施

(4) 医療系洋データベース「CINAHL Complete」のトライアル実施

3. 社会貢献

(1) 広島県大学共同リポジトリに参加

(2) 中学生の職場体験受け入れ（5名：2日間）

4. 管理運営

(1) 書架の増設

(2) 一般教養書の収集にあたって、月ごとにテーマを設けて教員・学生にリクエストを募り、受け入れ後の新着図書展示・ブックログ掲載との連動を開始

(3) 各種コンテストの開催

- ・ 第4回読書感想文コンテスト
- ・ 第2回ビブリオバトル
- ・ 第1回イチオシ本POP大賞

(4) 広報

- ・ 図書館報「ぶらりっと通信」の発行開始（1～3号）

1. 教育支援

- a) 新入生オリエンテーションガイダンス実施
(長束:5回 373名) (阿賀:5回 150名) (郷原・坂:9回 118名)
- b) 文献検索ガイダンス実施 (阿賀:33回 187名)
- c) 自由閲覧室をラーニングコモンズに改装(長束)
- d) ノート PC5 台の館内貸出開始 (阿賀:貸出回数 418人)
- e) 企画展示：教員より希望があったテーマ「生まれる」について考える図書を展示。
2年授業でグループ課題図書として提供 (阿賀)
- f) 選書ツアー実施 (坂:参加人数 7名・費用 25万円・購入冊数 173冊)

2. 研究支援

- a) 研究用図書の管理：備品図書登録
- b) 広島県大学共同リポジトリ (HARP) 参加
(コンテンツ数累積:762件 ダウンロード数:91,858件)
- c) 聞蔵 II テキスト (朝日新聞記事データベース) から聞蔵 II ビジュアルに変更 (全館)
- d) ざっさくプラス (雑誌記事索引集成データベース) 導入 (全館)
- e) 中国新聞経済データベース導入 (全館)
- f) 図書館員対象リポジトリ DOI 講習会参加 (阿賀)

3. 社会貢献

- a) 地域住民への図書貸し出しサービス実施 (長束:707名, 3,130冊)
- b) 地元中学生就業体験 (阿賀:4名受入) (坂:2名受入)
- c) 呉地区病院図書室への文献複写提供の相互連携 (阿賀)

3. 管理運営

- a) 長束・坂・郷原・阿賀の4キャンパス図書館共通の規定作成・運営
- b) 各館館長・司書の合同会議開催 (年1回) 意見交換や現状の把握
- c) 図書自動貸出システムの設置 (阿賀)
- d) Wi-Fi 設置。無線 LAN 接続環境整備 (阿賀)
- e) 4F 閲覧室のイスをキャスター付きのチェアに交換 25脚 (阿賀)

1. 教育支援

- 1) 学習環境の整備 実習貸出、長期休業貸出
- 2) 各種講習会 ゼミ対象ガイダンス（10回 82名）
- 3) ブックハンティング実施（2グループ 5名 費用：5万円）
カタログ選書（費用：5万円）
- 4) 知識の森（図書館利用促進イベント）、すずらん賞（読書週間関連イベント）の実施
- 5) 各種展示 企画展：1回 特集コーナー：5回
- 6) 電子書籍 e-book Library “セングージラーニング多読コンテンツ”「Page Turners Reading Library」50titles”購入

2. 研究支援

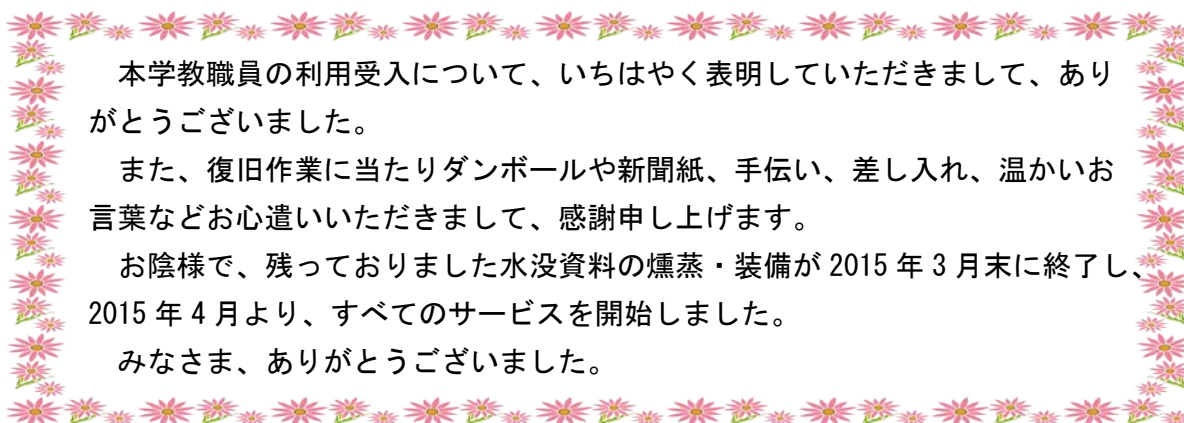
- 1) 研究用図書管理 研究室貸出資料の点検
- 2) 機関リポジトリ 研究紀要の登録
- 3) 課題 収集方針等の作成

3. 社会貢献

- 1) 司書講習支援（平成26年度で終了）
- 2) 図書館の一般開放

4. 管理運営

- 1) 8/20大雨災害被災、復旧作業



本学教職員の利用受入について、いち早く表明していただきまして、ありがとうございました。

また、復旧作業に当たりダンボールや新聞紙、手伝い、差し入れ、温かいお言葉などお心遣いいただきまして、感謝申し上げます。

お陰様で、残っておりました水没資料の燻蒸・装備が2015年3月末に終了し、2015年4月より、すべてのサービスを開始しました。

みなさま、ありがとうございました。

1. 教育支援

- ・ 図書館倶楽部(学生図書館サポーター育成を目指した組織)をつくる
- ・ ガイダンス実施 (新入生オリエンテーション(教養ゼミ)の実施)
- ・ シラバス掲載参考書コーナー、資格試験関連図書コーナーによる学生への学習支援
- ・ ラーニングcommons利用促進活動 (教授会での説明・セミナー開催)
- ・ 『新入生にすすめる 50 冊の本』を刊行し読書活動を促進
- ・ ビブリオバトル広島地区予選会参加

2. 研究支援

- ・ 選書組織の再構築
- ・ データベース利用講習会開催 (PsycINFO)
- ・ データベーストライアル実施、講習会開催
(JapanKnowledge, ProQuest, ざっさくプラス, JSTOR, eol)
- ・ 学術情報リポジトリにより研究成果を発信
- ・ 新規データベース、電子ジャーナル導入 (Academic Search Premier, Science Direct)
- ・ EUi セミナー開催

3. 社会貢献

- ・ 地域住民への図書館開放
- ・ 大学祭で館内にある EU 情報センターに因んだクイズを実施 (景品は EU グッズ・雑誌雑誌付録)
- ・ ライブラリーガイドをリニューアル
- ・ 地元小学校の生徒を案内
- ・ 中学生・高校生の職場体験受入
- ・ 図書館セミナー(本学教員が講師を務めるセミナー)を館内ラーニングcommonsで開催

4. 管理運営

- ・ JUSTICE 加盟
- ・ ノートパソコンの館内貸出開始
- ・ 除籍規定の整備を検討
- ・ キャレルデスク照明整備
- ・ 図書館アンケートを作成 (平成 27 年度実施)
- ・ 入退館新装置導入(2015. 3)
- ・ 課題) アクティブラーニング活性化に向け大学教育センターとの連携

1. 教育支援

- ・昨年度分から学生の個別在館時間データを学修状況参考用として学科指導教員に提供中
- ・グループ学習・ゼミ等にラーニング・commonsを活用
- ・資格試験関係図書、教職関係図書を専用枠で購入・提供

2. 研究支援

- ・データベースの購入・利用案内・利用状況報告
- ・学術雑誌、視聴覚資料の貸出
- ・相互利用サービス(文献複写・現物貸借)

3. 社会貢献

- ・学外利用者登録(昨年度 242 名ー全利用者の 14%)
- ・チャレンジ・ウィーク等就業体験の受入(昨年度中学校 2 校 10 名)
- ・企業説明会会場提供
- ・広島県大学図書館協議会総会当番

4. 管理運営

- ・館内空調機一部刷新
- ・ラーニング・commons拡充(1 室→3 室)・什器新調
- ・館内貸出用ノート PC の導入

1. 教育支援

a) 学習環境

- ・グループ利用研究室 3, 閲覧個室 4, 閲覧席 450 (在籍学生 4,356 名), 全閲覧エリアで無線 LAN 利用可
- ・授業参考図書を前期、後期ごとに授業参考図書コーナーに展示
- ・入学予定者閲覧利用用に入学前教育図書コーナーを設置
- ・教員出版物コーナー(教員自由意思で学科別教員別に 4 冊までの著書を展示、60 冊以上)を設置

b) サービス・ガイダンス等

- ・図書館ガイダンス 36 回、対象 1,098 人
- ・心理学基礎演習授業 学内フィールドワークに対応 2クラス各 1 チーム
- ・図書館展示 前期「学生による選書キャンペーン」本学で初めてのブックハンティング書籍を展示
後期「人生、生きる、私」テーマで女性のライフステージに沿った書籍を展示
- ・選書キャンペーン(ブックハンティング) 昨年に続き夏期休業中の 9 月 12 日に実施。学科均等に 40 名弱 400 冊
- ・システム(CARIN)による蔵書点検実施を視野に、全蔵書のバーコード整備を行いほぼ H26 年度中に完了。

2. 研究支援

- ・DB JIJI-Web, JDreamIII, 医中誌, PsycARTICLES, SciFinder, メディカルオンライン(フリーアクセスプラン契約)
- ・EJ ACS, Wiley, 生化学・薬学パッケージ(サイエンスダイレクト)
- ・国際観光ビジネス初学科設置前資料購入 60 点程度並びに従来の AVブース席数 9 席に加え 8 席追加工事
- ・稲賀文庫目録発行(H27.3 発行、元本学教授稲賀敬二先生収集の写本、版本等 500 を超える書籍)
- ・安田女子大学ポータル: 博士論文登録し公開
- ・国立国会図書館デジタル化送信サービス利用開始 9 月
- ・洋雑誌の購読継続に当たり円安に伴う 30% 大幅上昇対策対応(購読中止等)

3. 社会貢献

- ・高 3・保護者入試説明会、オープンキャンパス、高校生見学等来学者の図書館見学対応
- ・学園幼稚園園児 夏季お泊り保育時の絵本貸出や図書館利用に対応
- ・学園小学生 大学見学の際に大学図書館見学対応
- ・学園中学生 夏季休業中の「テーマ研究」のため来館対応
- ・安田式しつけ教育、AERA ムック「安田女子大学」コーナー開設し PR

4. 管理運営

- ・図書館運営委員会 各学科 1 名の委員から構成する委員会を開催し図書館運営に関する事項審議
- ・館員 15 名フルタイム換算 10 名(職員 4、パート司書 6、業務 5(ハブディキャップ-3 名)、登録院生 15 名)
- ・8 月豪雨 幸い学内・図書館への被害がなかった。
- ・H27 年月からの、授業期 月～土 8:30～21:00 開館に向け試行開館

1. 教育支援

- (1) 図書館システムを利用した新たなサービス
指定図書(教科書)の OPAC 検索による情報提供、定期的に督促メールの配信
- (2) 学生選書の会(市内書店にてブックハンティング)開催
- (3) ブックリユース 開催

2. 研究支援

- (1) 新入生図書館利用説明会
新入生に向けて図書館見学・パソコンを利用した OPAC 検索やサービスの紹介
- (2) 文献探索セミナー開催
文献探索方法・CiNii の使い方、SciFinder 講習会、JDreamIII 講習会

3. 社会貢献

- (1) 地元中学校(高屋中学校)の職場体験受入
- (2) うめの辺コンサート開催

4. 管理運営

- (1) 学生アンケートの実施
- (2) 空気清浄器導入
- (3) 入館ゲート・自動貸出返却装置の機器更改

1. 教育支援

- 1) 開館時間外における図書館 1 階の一部開放（図書館の活用）
平日 閉館後 ～ 21 : 15
土、日、休日 08 : 30 ～ 21 : 15
学生及び研修生を対象に図書館 1 階の一部を開放（平成 21 年度から継続実施）
- 2) 学生・研修生の希望図書を購入（読書に親しむ）
平成 23 年度から継続して購入、図書館 1 階の一部開放部分に配架
- 3) 新入生等に対するオリエンテーション実施

2. 研究支援

- 1) リポジトリ登録の推進、内容の充実、職員の勉強会等への積極的参加
- 2) 上記 1) 以外の分野（JAIRO Cloud や DOI 等）における研修、勉強会等への積極的参加

3. 社会貢献

- 1) 貴重図書（主に旧海軍大学校図書）及び海洋法ライブラリーに関する学外からの問い合わせや閲覧希望等への対応
- 2) 学外の来館者に対する部分的開放及びレファレンス対応等
- 3) 共同リポジトリにおける紀要等の web 公開

4. 管理運営

特になし。

1. 教育支援

- 1) 開館時間の再延長（9～19：00）→9～19：30 9月より
- 2) 参考図書の購入で、学習支援を行う
- 3) 山女図書館通信の毎月発行
- 4) 書店からの依頼でブックハンティング2回実施

課題 1) 図書館利用者の低迷

2. 研究支援

- 1) 紀要 年1回発行
- 2) CiNiiの継続

3. 社会貢献

- 1) 一般開放（年間30名の来館者）

4. 管理運営

- 1) 図書の廃棄を積極的に行った
- 2) 学生用PCの管理の徹底

1. 教育支援

- 校外実習中の貸出冊数の増加・期間延長を実施
- 長期休業中の貸出冊数の増加・期間延長を実施
- シラバス掲載の参考図書の購入
- 教員と連携し、ゼミ生等への論文検索・DB検索講習を実施
- 各学科の教員より学生へのお薦め本を毎月1冊お薦めコメント付きで展示
- いろんな分野の蔵書を紹介するため、毎月1つのテーマに基づいた図書を“特集コーナー”に展示
- ブックハンティング実施および購入図書の展示

2. 研究支援

特になし

3. 社会貢献

- 中学生の職場体験受入（3校）

4. 管理運営

- 職員に夏期の司書講習に参加させ、司書の資格を取得させた。

課題

- 書庫の狭隘
- 蔵書の除籍

1. 教育支援

- ・ 新入生図書館利用ガイダンスの開催（4 クラス，留学生）
- ・ ブックハンティングの実施（年 2 回）
- ・ 教科書，シラバス掲載図書，希望図書，推薦図書の購入
- ・ 読書感想文コンクールの開催（年 1 回）
- ・ 試験前～期間中の開館時間延長（21:00 閉館）と日祝日開館（10:00-17:00）
- ・ 図書館を利用した授業への協力
- ・ 印刷用紙の無償提供

2. 研究支援

- ・ 退職教員等の返却図書の受入れ
- ・ 新任教員等への必要図書の研究室貸出
- ・ 『研究報告』誌の編集，発行（年 1 回）
- ・ インターネット予約貸出しサービス（県立図書館）の利用開始（平成 26 年 9 月）

3. 社会貢献

- ・ 一般利用者への公開，利用証の発行（貸出）
- ・ 学校見学会での図書館イベントの開催（8 月）
- ・ 学会誌の収集及び公開

4. 管理運営

- ・ 「図書だより」の発行（年 1 回）
- ・ ブラインドの更新

1. 教育支援

a) 学習環境

- ・郷土資料コーナー整備
- ・COC 事業関連資料・多読英語図書の収集

b) サービス等

- ・学科推薦図書の整備
- ・校内作文・表現コンクールの実施及び最優秀・優秀作品を図書館だよりに掲載
- ・第 4 回ブックハンティングの実施（51 冊購入）

c) ガイダンス、各種講習会

- ・新入生図書館ガイダンス（3 回 138 名）、文献検索ガイダンス（1 回 11 名）

2. 研究支援

a) 電子ジャーナルの整備

b) 研究紀要の作成・編集

c) 研究用図書の管理

- ・退職教員より返却図書（約 400 冊）を受入

3. 社会貢献

a) 展示、イベント

- ・第 6 回ミニコンサート開催（観覧者 57 名）

b) 地域との連携

- ・図書館一般利用者への図書館だよりの送付（年 2 回）
- ・地元の美術同好会などが描いた絵画・書道作品を館内等に展示

4. 管理運営

a) 複本図書の廃棄決定（約 3,300 冊）

b) 課題

- ・書庫の狭隘